



観光振興の着眼点

第1章 観光振興の着眼点

1 中央市の現状と背景

中央市は市制施行以来「実り豊かな生活文化都市」を将来像に掲げ推進しており、安全で安心な住まいの環境として、近年、住人口は維持されています。

「全国住みよさランキング 2014 年版」においては全国 29 位となっており、特に利便度では全国 6 位と評価を受けています。

また、リニア中央新幹線の山梨県（仮称）駅が中央市に隣接する甲府市大津町周辺に計画され、平成 39 年には開業予定で、地域間の交流の拡大や社会・経済・文化・産業・観光など、あらゆる面で飛躍的な発展をもたらすと期待されます。

2 観光振興の着眼点

中央市には、2つの JR 身延線駅、山梨大学医学部附属病院、大型商業施設、図書館、道の駅とよとみ、四季新鮮収穫広場た・から、中央市豊富郷土資料館、シルクふれんどりい、総合会館などの施設や、古い歴史を持つ寺社が数多くあります。

また、県内有数の野菜生産地でもある農業や、地域固有の自然、生活に根ざした地域文化芸能もあります。

美しい自然環境、歴史文化や地域伝統芸能、農業と連携した体験などを取り入れた観光資源の掘り起しにより、地域住民が楽しめる観光拠点を充実することで、県内外からの交流人口の増加につなげます。

人には新しいもの・珍しいもの・素晴らしいものを見たい体験したいなどの願望があり、一方で自分の趣味や努力して積み上げた能力や成果を見せたい・説明したい・教えたいなどの願望もあります。これらを活かすため、市内諸施設を活用して市民の持っている知識・技能・成果を披露できる場をつくり、機会を誘導することで新たな観光を生み出すと考えます。

